



福島県南相馬市立原町第一中学校

# 原一中だより

第11号 令和6年2月22日(木)発行

令和5年度 重点目標

未来をみつめ とともに学び 高め合える生徒

## 令和5年度 学校評価について

昨年12月に行った「令和5年度原町第一中学校 学校評価」に関するアンケートでは、保護者の皆様にご協力いただき誠にありがとうございました。現在、この結果をもとに、来年度の教育課程を作成しております。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

領域	実践事項	主な評価項目 ○4段階評価(1・2・3・4) 【○3・4の割合 ≥85%程度】 【●3・4の割合 ≤75%程度】	今年度の実践内容・課題	次年度への改善点	学校関係者評価(A・B・C) ご意見・要望
学習指導	確かな学力の育成	<p>○学校の施設・設備は、生徒が生活や学習しやすいように整備されている。 (生徒92%、保護者93%、教職員90%)</p> <p>○対話的な活動により理解を深めている。 (生徒88%、保護者91%、教職員85%)</p> <p>●家庭学習をする習慣が身に付き、効果的に勉強している。 (生徒78%、保護者70%、教職員80%)</p> <p>●授業では、生徒の考えが大切にされ、具体的なアドバイスを受けて課題を解決する場面がある。 (生徒92%、保護者69%、教職員85%)</p>	<p>○定期的に施設の管理・環境整備を行い、学級をはじめ校内掲示を工夫した。</p> <p>○意図的・計画的に学び合いの場を設定することで、深い学びへとつなげることができた。</p> <p>●家庭学習の習慣化のため、自主学習ノートへの取り組みを工夫したが、実感や実績につなげることができなかった。</p> <p>●授業で生徒へアドバイスしていることが保護者に伝わらなかった。</p>	<p>・自主学習ノートへの取り組みだけでなく、タブレットの持ち帰りを推奨し、多様な家庭学習の姿をつくれるようにする。</p> <p>・学校での取り組みや生徒との関わりについて、学校ホームページやお便りをとおし、さらに保護者や地域に周知できるようにする。</p>	<p><b>評価 A</b></p> <p>○生徒への指導や支援が適切である様子が、よい評価結果に表れている。</p> <p>○タブレットの活用を若い先生ベテランの先生を問わず、どの授業でも活用してほしい。</p> <p>○タブレットの活用は効果的だと思うが、数値として評価できるとさらにわかりやすいと考えるので、可能であれば取り組んでほしい。</p>
道徳・特別活動	豊かな人間性の育成 自己実現を図ろうとする態度の育成	<p>○学校では、思いやりや社会のルール、人権について学ぶ機会が多くある。 (生徒94%、保護者86%、教職員90%)</p> <p>○道徳の授業で学んだことを、自分の生活や生き方に役立てようとしている。 (生徒91%、保護者81%)</p> <p>●「総合的な学習の時間」では、地域の人々とかかわる機会がある (生徒84%、保護者81%、教職員75%)</p>	<p>○学校行事をはじめ、生徒を主役とし、主体的に取り組める機会を意図的に作り、自己有用感・成就感を感じさせるようにした。</p> <p>○道徳教育推進校として1年間をとおして研究を進めることで、道徳の授業の活性化や教師の授業力向上につなげることができた。</p> <p>●総合的な学習の時間では、地域と関わり学ぶ活動を行ったが、限られた時間であった。</p>	<p>・学校ホームページやお便り等をおし、学校が地域と関わっている様子を伝える。</p> <p>・総合的な学習の時間だけでなく、委員会活動や部活動等地域と関われる機会をつくれるようにする。</p>	<p><b>評価 A</b></p> <p>○道徳が教科になったことは意味が大きい。先生方も熱心に授業をするようになった。</p> <p>○今年度は道徳教育推進校として、特に道徳教育に力を入れて取り組むことができた。研究指定を受けてよかったと思う。</p>
生徒指導・健康安全指導	きめ細かな生徒指導の充実 健やかな身体育成	<p>○生命の尊さや性に関することについて、道徳や保健体育、学級活動など様々な場面で学ぶ機会がある。 (生徒95%、保護者89%、教職員89%)</p> <p>○服装や態度は中学生らしく、場に応じた明るいあいさつや正しい言葉遣いができる。 (生徒93%、保護者89%、教職員85%)</p> <p>○先生方は、悩みごとや相談があるとき、親身になって応じてくれる。 (生徒93%、保護者84%)</p> <p>○先生方は、悪いことは悪いと、きちんと指導してくれる。 (生徒99%、保護者89%)</p>	<p>○学校でのきまりごとについて、生徒達が主体となって話し合い、考えさせることができた。</p> <p>○教育相談やいじめアンケート等を定期的に実施し、スクールカウンセラーをはじめ関係機関と連携して対応した。</p> <p>*福島県体力・運動能力調査によると、柔軟性や体力において県平均よりも低い項目が多い。 *不登校、不登校傾向の生徒数削減が課題である。</p>	<p>・体育の授業をはじめ、運動する機会を意図的に作り、運動の楽しさを味わわせる。</p> <p>・スクールカウンセラーや関係機関との連携を継続するとともに、スペシャルサポートルームの活用や家庭とのつながりを継続し、学校への安心感、信頼感を高める。</p>	<p><b>評価 A</b></p> <p>○男女の仲が良く、とても落ち着いている。</p> <p>○校外であいさつをしてくれる生徒が多く、うれしく感じる。</p> <p>○夜遅くまでスマートフォンを見ているためか、朝に弱い生徒が多いと感じる。使い方に気をつけてほしい。</p> <p>○登下校が徒歩になることで、肥満軽減や体力の向上につながると思う。</p> <p>○自転車で登校している生徒については、校門の前では降り、あいさつできる生徒になってほしい。</p>